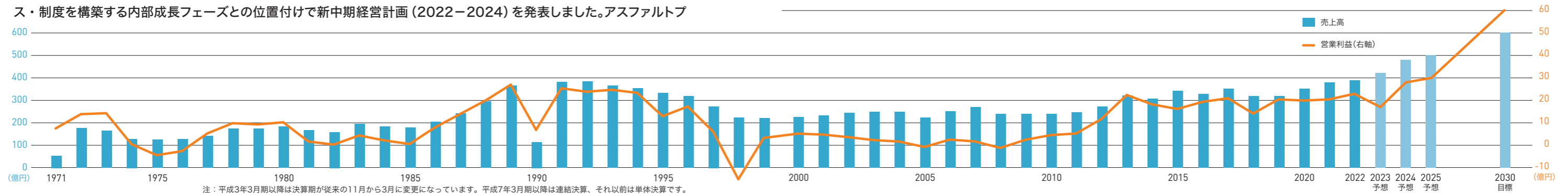


1919年、ショベルやスコップ、ツルハシ、建築用金物類の製造販売からはじまった日エグループは、2019年8月、創業100周年を迎えました。2022年は2030年のありたい姿(売上高600億円、営業利益率10%)に向けた体制・プロセス・制度を構築する内部成長フェーズとの位置付けで新中期経営計画(2022-2024)を発表しました。アスファルトプ

ラント、コンクリートプラントのバイオニア企業として、イノベーションを通じた脱炭素社会への貢献とDX技術を活用した新たな事業領域への展開、更にはグローバル展開を強化します。



1919-1950

1951-1969

1970-1989

1990-2011

2012-2021

2022-2030

創業と戦後復興	事業の拡大と高度成長期	機械メーカーへ脱皮	環境事業への進出とグループ経営の強化	攻めの経営へ転換	新中期経営計画と2030ありたい姿の実現に向けて
<p>日エグループの沿革</p> <p>1919年・日本工具製作株式会社設立 1920年・ショベル販売開始 1921年・本社を明石市へ移転 1934年・第二工場新設、木柄の生産開始 1938年・第三工場完成、生産開始 1948年・第四工場竣工、鋳物の生産開始 1950年・リュウセンハンドルの生産・販売開始</p>	<p>1951年・ウインチ、ミキサの生産に着手 1956年・メンテナンスショベルの生産・販売開始 1958年・アスファルトプラント1号機完成 1962年・東京証券取引所第一部に株式上場 1963年・自動式パッチャープラント1号機完成 1966年・ベルトコンベヤの生産開始 1968年・社名を日工株式会社に変更</p>	<p>1970年・AP新工場、 1970年・リフト、安全足場板の生産開始 1971年・公害対策AP完成 1974年・西ドイツ・ベニングホーヘン社と技術提携 1979年・米国ボーイング・コンストラクション・イクイメント社とドラミキで技術提携 1986年・東京サービスセンター開設 1989年・アメリカ駐在委員事務所開設</p>	<p>1991年・開発技術センター新設 1994年・幸手工場が完成 1997年・CO₂削減を目指した新型「WELLパーナ」開発 1998年・新製品・缶ピン選別圧縮機「リサイクル4」販売開始 2002年・日工(上海)工程機械有限公司を設立 2004年・初の海外生産拠点「日工(上海)工程機械有限公司嘉定工場」の竣工式 2011年・山推日工建設機械有限公司武漢新工場完成</p>	<p>2012年・西川貴久が代表取締役社長に就任 2015年・ドイツ・クリーマン社の日本総代理店として活動開始 2016年・新型アスファルトプラント「パリュパック」を販売開始 2018年・テクノセンター(明石)新築 2018年・モバイル事業部を設置 2019年・辻勝が代表取締役役に就任 2020年・Nikko Asia(Thailand)CO.,Ltd.設立</p>	<p>2022年・新中期経営計画(2022-2024)発表 2024年・売上高500億円、営業利益率6%目標 2030年・売上高600億円、営業利益率10%目標</p>
<p>日エグループの提供するソリューション</p> <p>復興需要に向けたショベル・スコップを提供</p>	<p>各種建設機械を製造販売 アスファルトプラントの製造販売開始 パッチャープラントの製造販売開始 各種機械の大型化と自動化プラントを提供</p>	<p>無公害プラントを提供 環境と安全を考慮した製品提供 メンテナンス強化</p>	<p>高品質な生コン製造技術の提供 省エネ・低騒音パーナの提供 環境・リサイクル製品の提供</p>	<p>CO₂削減技術の提案 災害復興製品のラインアップ強化 アジア市場へ高品質・高環境性能製品を提供</p>	<p>脱炭素化技術の提案 環境対応製品の本格展開 DXを活用した遠隔化・自動化提案</p>
<p>外部環境</p> <p>戦後の旺盛な復興需要</p> <p>1924年・阪神甲子園球場完成 1936年・国会議事堂完成 1939年・第2次世界大戦開戦 1945年・日本、ポツダム宣言受諾 1950年・朝鮮戦争開戦</p>	<p>高度成長期</p> <p>1956年・日本道路公団発足 1958年・東京タワー開業 1964年・東京オリンピック開催 1965年・名神高速道路全線開通 1967年・公害対策基本法公布</p>	<p>バブル経済と環境意識の高まり</p> <p>1970年・日本万国博覧会開幕 1972年・東北自動車道(岩槻~宇都宮)開通 1978年・成田空港開校 1983年・中国自動車道全線開通 1988年・瀬戸大橋開通</p>	<p>環境に優しい製品ニーズが拡大</p> <p>1994年・関西国際空港が開港 1995年・阪神淡路大震災 2008年・リーマン・ショック 2010年・中国・上海万博開幕 2011年・東日本大震災発生</p>	<p>各種災害が甚大化</p> <p>2012年・東京スカイツリー開業 2015年・北陸新幹線(東京~金沢)開業 2018年・2025年大阪・関西万博の開催決定 2020年・新型コロナウイルスが世界的にまん延 2021年・東京オリンピック開催</p>	<p>ポストコロナ時代</p> <p>2025年・大阪万博 2026年・アジア競技大会(名古屋)</p>
<p>創業当時の本社工場</p>	<p>1958年 アスファルトプラント1号機の完成</p>	<p>1968年 東名高速道路で初めての国産プラント採用日工製NAP-602</p>	<p>震災復興用プラントの投入</p>	<p>Nikko Asia (Thailand) Co.,Ltd 設立</p>	<p>NIKKO NILKHOSOL CO., LTD.</p>